

教科	芸術	科目	書道 I	年次	2～4	単位数	2
使用教科書 (副教材など)		新編 書道 I (大修館出版)					

学習 目標	書の幅広い活動を通して、書体験を通して書に対する感性を高め、生活や社会の中の書や書の文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指します。 (1) 書の表現方法や書表現の多様性について、書の創造的活動を通して理解を深めるとともに、作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身に付けることができるようにします。 (2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいた表現について構想し工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにします。 (3) 主体的に書の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養います。	
評価の 観点	① 知識・技能	書の表現方法や書表現の多様性について、書の創造的活動を通して理解を深めるとともに、作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身に付けることができる。
	② 思考・判断・表現	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいた表現について構想し工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができる。
	③ 主体的に学習に取り組む態度	主体的に書の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養おうとしている。
評価の 方法	単元で制作する作品を中心に、制作過程や振り返りを記入するプリントなどで評価をします。また、授業態度や参加姿勢など、平常の取組についても評価の対象にします。	

	単元	学習内容
前期	1 書活動への導入 ・書の学び方 ・書体の変遷 ・基本点画の練習	・1年間の書の学習の仕方の大きな流れを理解します。 ・漢字の5書体の変遷を理解します。 ・書活動に向けて、基本点画、「永」字で永字八法を習得します。
	2 楷書の学習 ・九成宮醴泉銘 ・孔子廟堂碑 ・雁塔聖教序 ・顔氏家廟碑 ・楷書の倣書	・楷書の代表的古典作品の臨書を行い、用筆や書風を理解します。 ・九成宮醴泉銘では、鋭い線質や背勢を捉えて臨書を行います。 ・孔子廟堂碑では、丸みを帯びた字形や太い線質を捉えて臨書を行います。 ・雁塔聖教序では、藏鋒や細い線質を捉えて臨書を行います。 ・顔氏家廟碑では、蚕頭燕尾や向勢を捉えて臨書を行います。 ・学習した4作品から、それぞれ言葉を決め倣書を行い、創造する力を養います。
後期	3 篆刻の学習 ・落款印の制作	・書作品には作品の仕上げとして、氏名を揮毫した後に、自身の氏名の落款印を押すという形式があり、その形式を理解し、印の制作を行います。 ・制作後は他の人の印を鑑賞し、互いの良さを認め合います。
	4 行書の学習 ・蘭亭序 ・風信帖	・行書の代表的古典作品の臨書を行い、用筆や書風を理解します。 ・蘭亭序では、行書の代表的な特徴とされる5つの特徴を捉えて臨書を行います。 ・風信帖では、書聖「王羲之」の筆力の変化に満ちた書風を捉えて臨書を行います。
	5 創作の学習 ・色紙の制作	・1年間のまとめとして、楷書・行書の古典作品をもとに、それぞれ言葉を決めて色紙の制作を行います。 ・作品制作後に、自身で彫った落款印を押し、鑑賞会を行います。